

横浜市健康福祉総合センターのアスベスト対策状況

横浜市健康福祉総合センターは、平成 17 年度に本市が実施した実態調査において、アスベスト含有吹付け材が「囲い込み状態にある施設」とされており、原則として毎年度、浮遊量測定を実施するなど、適切に維持管理を行い、施設改修時に合わせて対策を実施することとしております。

横浜市健康福祉総合センターの浮遊量測定調査結果については、以下のとおり報告します。

<囲い込み状態にある施設> (※1)

所在区	施設名	室名	吹付け状況
中区	横浜市健康福祉総合センター	1階駐車場車路	天井裏

測定時期	アスベスト浮遊量 (※2)	
	測定結果 (本/L)	定量下限値 (※3)
令和5年11月	0.056 未満	0.056
令和4年11月	0.056 未満	0.056

※1：「囲い込み状態にある施設」とは、アスベスト吹付け場所が天井裏で密閉されており、吹付け材が比較的有害性の低いクリソタイル（含有率はおおむね5%以下・1か所アモサイト2%）であるもので、今後原則的に毎年度、浮遊量測定を実施するなど、適切に維持管理を行い、施設改修時に合わせて対策を実施する施設です。

※2：アスベスト浮遊量については、WHO（世界保健機構）の保健報告書によると、「世界の都市部の一般環境中の石綿濃度は、1～10本/リットル（大気1リットル中に繊維が1～10本程度）」であり、この程度であれば健康への影響は見いだせない旨記載されています。

※3：測定にあたり測定機関が設定した数値であり、機関ごとに差異があります。